



2021 年度

神戸 YWCA  
事業計画書

**神戸 YWCA**



## 第 33 総会期

### 日本YWCA 全国会員総会決議

#### 主題聖句

「平和を実現する人々は幸いである」 - マタイによる福音書 5 章 9 節 -

#### ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

#### ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

#### バリュー

##### 1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。

##### 2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

##### 3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。

##### 4. セーフ スペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

#### 神戸YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

#### 神戸YWCA 2021 年度活動目標

共に社会を変える一歩を踏み出す

# 2021 年度 神戸YWCA事業・活動計画

## I 平和と人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心となり実施していく。

### ■世界・社会委員会

#### 【活動方針・活動目標】

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

#### 【活動計画】

##### ①韓国市民社会を知り日本市民社会を知るプロジェクト

目的：軍事政権から民主化を勝ち取り、今もその途上にある韓国市民社会から学び、日本市民社会の民主主義を見直す。

年間目標：韓国映画や書籍、韓国在住の方との交流を通して学ぶ。韓国スタディツアーも計画中。

内容：韓国映画「共犯者たち」を各自鑑賞し、その背景の市民社会についてスピーカーを招き、話を聞く。すでに実績のある早稲田奉仕園のスタディツアーについても話を聞く。

実施頻度（回数）：2～3回／年

### ■環境・くらし委員会

#### 【活動方針・活動目標】

SDGs（持続可能な開発目標）、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

#### 【活動計画】

##### ①QOL向上プロジェクト

目的：人生を生き活きと生きるために「生と死」を見つめ、「いのち」や「暮らし」について考え、語り合う。

年間目標：・それぞれの死生観を深め、生きることについて考える。

・「死」に関する様々なテーマについて学ぶ。

・講演、DVD、記事などを通して、自分の死生観、生き方を深める。また自分の思いに気づく。

内容：死生学の専門家などのアドバイスを受けつつ、全体プログラムを構成する。オンラインでの語り合いと講演会を実施予定。

実施頻度（回数）：3～4回／年

##### ②<sup>こうふく</sup>神福のはしごプロジェクト（旧「被災者支援プロジェクト」）

年間目標：セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300」の活動方針に沿って今年度も実施する。

また利用者家族との交流も実施し、福島で生活する方々から学び続ける。発災時の「支援」から「共に生きる」仲間として、名称を「神福のはしご（神戸と福島をつなぐはしご）」と改名し、繋がり励ましあう関係をさらに深めていきたい。

##### a) セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：・日本YWCAとの協働事業

・神戸YWCA関係者から家屋を一定期間貸し出してもらい、保養に用いる。（利用者には交通費の一部を支援。水道光熱費や家賃は無料）

・利用家族との交流を通して、福島の現状を学ぶ。

対象者：福島県をはじめ近隣県の放射能被災下に生活する家族および単身女性

実施頻度（回数）：申し込みがあり次第随時

実施場所：兵庫県内

##### b) はしごプロジェクト

目的：共に生きる仲間として、福島の声から学び続ける。

内容：オンラインによる福島と神戸をつなぐ勉強会、お話し会など

対象者：会員、一般

実施頻度：随時

## ■ユース・エンパワメント委員会

### 【活動方針・活動目標】

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

### 【活動計画】

#### ①旅人ユースプロジェクト

目的：ユースが各チームやグループにボランティアとして関わることを通じて、その現場の魅力や課題に触れる。また、ユース・ミドル・シニアの対話を促進する。最終的には、ユースが企画運営を担うようになることを目指す。

年間目標：旅人ユースチームに中心的に関わるユースを3人増やす。

内容：定例ミーティング

- ・ボランティア参加するプログラムの調整
- ・広報活動の戦略づくり

ボランティアプログラム

- ・各チームやグループのプログラムにボランティアとして参加（対面）
- ・プログラム終了後参加者ふりかえり

- ・翌月に、活動に参加していない人も含めた、プログラムふりかえり&問題意識の共有（オンライン）

実施頻度（回数）：3～4回／年

#### ②こどもいいんかいプロジェクト

目的：子どもの「やりたい」を、形、プロジェクトにする。思い描いたプロジェクトを遂行するためには何が必要かを自ら考え行動をする。子どもは問題提起と解決方法の力をつけ、次世代を担う力をつける。おとなは子どもからの発信に刺激を受け協働できる関係を目指したい。

年間目標：子ども発信のプロジェクト・イベント開催

内容：・したいことをまとめる話し合い（意見を出し合う・聞きあう）

- ・目標、行程などを計画し、表にして、実行を「形にする」ことを学ぶ。
- ・役割分担や必要な物資を調達する方法なども学ぶ。
- ・既存の「ちくちく子ども手づくりの会」（子どもによるYWCAのワッペンづくり）をベースに、活動を開始する。

実施頻度（回数）：2～3回／月

## ■会員委員会

### 【活動方針・活動目標】

神戸YWCA 100周年イヤーに実施した、長年活動をされてきた会員の方から思いを語って頂く集いを、継続開催する。

### 【活動計画】

#### ①誕生日カードプロジェクト

目的：神戸YWCAの全会員、会友に神戸YWCAからの親睦のメッセージを届ける。

内容：誕生日カード、グリーティングカードなどの発送

対象者：会員、会友

実施日時：随時

#### ②思いを語る会

目的：神戸YWCAの活動を積み重ねてこられた会員のお話を聞くことで、YWCAの次世代へ思いをつなげる。

内容：シニアの会員のお話と多世代交流。

対象者：会員、会友、神戸YWCAに関心のある方

実施日時：数回／年

実施場所：神戸YWCA本館

## グループ

### ■愛農人倶楽部

#### 【活動方針・活動目標】

- ・野菜づくりを参加者で楽しみ、野菜づくりを通じて色々なことを学ぶ。
- ・神戸YWCAなどで野菜を販売することで多くの方々に倶楽部を知っていただく。

#### 【活動計画】

##### ①農作業体験（定例会）

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、収穫、食べる、参加者との交流、地域の方との交流を楽しむ。

内容：4月 ジャがいも追肥、麦追肥／5月 えんどう豆摘み、いちご収穫、夏野菜種まき／6月 ジャがいも収穫、さつまいも植付け／7月 大麦収穫、夏野菜の世話／8月 雑草刈り、夏野菜の世話／9月 大根、蕪種まき、ブロッコリー苗植付け／10月 さつまいも収穫、大根間引き／11月 玉ねぎ植付け、豆類種まき、麦種蒔き、大根追肥／12月 大根収穫、麦踏み／1月 大根収穫、麦踏み、追肥／2月 玉ねぎ追肥、麦踏み／3月 ジャがいも植付け

対象者：おとな、子ども

実施頻度（回数）：12～15回／年

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）

##### ②収穫祭

目的：みんなで収穫し、料理で食べる楽しみを満喫し、参加者や地域の方々との交流を楽しむ。

内容：野菜収穫と料理づくり

対象者：おとな、子ども

実施日時：夏、秋、冬（6月か7月、10月、12月、2月）

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）もしくは神戸YWCA分室

##### ③ジャがジャがいも掘り

目的：ジャがいも掘りの楽しさ、農作業の素晴らしさ、地域の人との交流

内容：ジャがいも掘り

対象者：おとなと子ども

実施日時：1回／年（6月～7月上旬）

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）

##### ④さつまいもほりほり

目的：さつまいも掘りの楽しさ、農作業の素晴らしさ、地域の人との交流

内容：さつまいも掘り体験

対象者：おとなと子ども

実施日時：1回／年（10月～11月上旬）

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）

##### ⑤農園もちつき大会

目的：もちつきと農作業体験と地域の人との交流

内容：大根収穫ともちつき体験

対象者：おとなと子ども

実施日時：1回／年（11月）

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）

##### ⑥うんとこしょ、どっこいしょ、の大根抜きと撮影会

目的：大根収穫の楽しさ、農作業体験と地域の人との交流

内容：大根収穫、大根との記念撮影

対象者：おとなと子ども

実施日時：1回／年（12月）

実施場所：風キャビン農園（神戸市北区道場）

### ■声の奉仕

#### 【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行なう。技術向上のため月1回の講師による朗読の学習・指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送する。

### 【活動計画】

#### ①例会／連絡会

目的：声の奉仕グループの運営

内容：日赤運営委員会報告、声の奉仕運営に関する話し合い、担当する CD 出版物の内容決定など

対象者：メンバー

実施日時など：第 4 火曜日（8 月を除く）

実施頻度（回数）：11 回／年

実施場所：神戸YWCA本館

#### ②例会／朗読勉強会

目的：朗読技術などの向上

内容：実際に朗読し、講師の指導を受ける。

対象者：メンバー

実施日時など：第 4 火曜日（8 月除く）

実施頻度（回数）：11 回／年

実施場所：神戸YWCA本館

#### ③発声練習／「つちのこ」企画など

目的：「つちのこ」の企画、制作など

内容：・発声練習

・年 1 回担当の「つちのこ」の企画、制作など

・単行図書の提案など

対象者：メンバー有志

実施日時など：適宜

実施頻度（回数）：11 ～ 20 回／年

実施場所：日赤兵庫県支部

#### ④録音、編集

目的：録音、編集

内容：神戸YWCAが担当する PHP の録音、花時計・「つちのこ」の録音・編集、PHP 全体の編集

対象者：担当メンバー

実施日時など：適宜

実施頻度（回数）：適宜

実施場所：日赤兵庫県支部、各自宅

### ■讃美歌を歌おうかい

#### 【活動方針・活動目標】

讃美歌に親しみ楽しく歌うことを目標にする。

#### 【活動計画】

目的：讃美歌を歌う。

内容：讃美歌Ⅱ編および讃美歌 21 より歌う。

対象者：会員、一般

実施日時：第 1 木曜日 15 時～ 16 時

実施頻度（回数）：11 回／年（8 月を除く）

実施場所：神戸YWCA本館

### ■聖書を読む会

#### 【活動方針・活動目標】

聖書を読み、イエス・キリストの生き方に学び、日々の生活に少しでも活かせるように努める。

#### 【活動計画】

目的：聖書をより深く読む。

内容：イエスの愛と平和を学ぶ。

対象者：会員、一般

実施日時：第 1 木曜日 13 時 30 分～ 15 時

実施頻度（回数）：11 回／年（8 月を除く）

実施場所：神戸YWCA本館

## ■ジェンダーグループ

### 【活動方針・活動目標】

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会作りを目指す。

### 【活動計画】

#### ①定例ミーティング

目的：ジェンダーに関する活動を進める。

内容：グループ運営、等

対象者：メンバー

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：ほぼオンライン

#### ②勉強会

目的：ジェンダー問題について学ぶ。

内容：担当の選んだ資料を読み意見交換、等

対象者：メンバー、ゲスト

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：未定

#### ③ワークショップ

目的：アンジェンダーの意識について考察する（アンケート結果からわかったこと）。

内容：ジェンダーに関する課題、等

対象者：一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回

実施場所：未定

## ■ピース・ブリッジ（Peace Bridge）

### 【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと橋をつなぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行ない、学び、語り合う。

### 【活動計画】

#### ①学び、語り合い、つながる会

目的：学びを深めて、平和への思いを共有する。

内容：テーマを設定して講師に80分ほど語っていただき、その後参加者で語り合う。

対象者：一般

実施日時など：土曜日14時～16時30分

実施頻度：4回／年

実施場所：喫茶「エスポワール」

#### ②ピース・ブリッジだよりの発行

目的：コロナ禍で対面のプログラムができない場合、平和への思いを発信する。

内容：テーマは、ミーティングで決める。

対象者：一般

実施頻度：1回／年

## ■文学講座

### 【活動方針・活動目標】

清少納言の「枕草子」を読み継ぐ。

### 【活動計画】

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。

内容：清少納言の「枕草子」をメンバーで読む。



対象者：会員、一般  
実施日時：第3火曜日 13時30分～15時30分  
実施頻度（回数）：11回／年（8月は除く）  
実施場所：神戸YWCA本館

## ■平和活動グループ

### 【活動方針・活動目標】

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

### 【活動計画】

#### ①定例ミーティング

目的：平和活動の具体的推進とメンバー相互の交流

内容：平和活動の実施にあたり、プログラム作成と、活動に伴う問題・課題をメンバー間の自由な意見交換を通して解決し、合意する。

対象者：グループメンバー

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：神戸YWCA本館

#### ②平和集会

目的：活動方針・目標を具体的に進めるための集会を開く。

内容：講演会（憲法、平和、民主主義、核、原発の問題）で広く知ってもらい、興味をもってもらう。

対象者：一般

実施日時：夏か秋

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：オンライン開催

#### ③ゲスト学習会

目的：平和に関連する様々な問題や課題について、共に考え、意見を交換する。

内容：講師による問題提起と、参加者全員による自由な話し合い

対象者：一般

実施日時：土曜日午後 秋

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

#### ④憲法出前プログラム

目的：憲法について考えたことのない人たちを中心に、憲法や立憲主義について考えてもらう機会を提供する。

内容：対象者に合わせた最近の社会問題を切り口に、憲法が生活と深く関わっていることを実感してもらい、同時に紙芝居を通して立憲主義を学ぶ。必要に応じて、改憲の動きと草案を紹介する。

対象者：若い世代を中心に一般

実施日時：コロナが収束してから

実施頻度（回数）：3回／年

実施場所：出前先（学校など）

#### ⑤持ち寄り学習会

目的：平和に関する知識を深め、視野を広げ、互いに啓発し合うことで、平和活動の糧とする。

内容：メンバーが今関心のある問題を持ち寄り、学び合う。

対象者：グループメンバーおよび一般

実施日時：ミーティング前

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

#### ⑥他団体と共催

目的：他団体との意見交換

内容：他団体と今問題になっていることを取りくむ

対象者：一般

実施日時：未定

実施頻度（回数）：1／年

実施場所：神戸YWCA本館

## ■マザースカレッジ企画会

### 【活動方針・活動目標】

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

### 【活動計画】

#### ①ストーリーテリング研究会（講師：大月ルリ子さん）

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4金曜日

実施頻度（回数）：7回／年

実施場所：神戸市青少年会館

#### ②ストーリーテリング研究会（講師：芦田悦子さん）

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4月曜日

実施頻度（回数）：6回／年

実施場所：神戸YWCA本館

備考：2020年度の未消化2回あり

#### ③真生塾

目的：児童養護施設「神戸真生塾」の子どもたちにおはなしや絵本を届ける。

内容：ストーリーテリング、読み聞かせ。

対象者：4～5歳の幼児

実施日時など：第3日曜日13時30分～14時。

実施頻度（回数）：10回／年

実施場所：神戸真生塾

備考：担当者は1～2人。現在休止中。状況により再開。

## ■夜回り準備会

### 【活動方針・活動目標】

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣い、野宿者や生活困窮者に寄り添う活動を行う。具体的には神戸市東部から芦屋市にかけての夜回りと昼回り、必要に応じての生活保護申請同行や居宅確保などのサポート、医療支援、越年越冬活動への参加、行政への働きかけとアドボカシー、メンバーの研修や勉強会、他団体や他機関との協働、年次報告書発行などのプログラムを昨年度に引き続いて実施する。また、前年度の目標であったが取り留めずに終わっている格差拡大・非正規雇用の問題や、コロナで生活に打撃を受けている女性への支援についても、2021年度はなんらかのアクションを取りたい。

野宿者の数は減少しているが、貧困や格差の問題は深刻化している。当グループの果たす社会的役割はむしろ増大しているため、今後も中長期に渡って活動が継続できる体制を整えていきたい。

### 【活動計画】

#### ①夜回り

目的：野宿している人の現実に触れ、私たちの先入観を正し、手伝えることをする。

内容：話を聞き、交流し、必要なこと可能なことをする。

対象者：神戸市東部エリア（灘区、東灘区）および芦屋市で野宿している人

実施日時など：第2・第4土曜日の夜

実施頻度（回数）：24回／年（通年）

実施場所：野宿している人のいる場所

#### ②昼回り・病院訪問・福祉事務所等同行・住まい確保

目的：昼回りは夜回りではできなかったことの補完

内容：新しい方に会う。生活保護申請や病気治療できるよう手伝う。

対象者：必要な人

実施日時など：不定期。要望があったとき

### ③神戸「冬の家」越冬活動参加

目的：閉庁期の相談活動と交流

内容：炊き出し、あるいは食料などの配布を担当する。

対象者：希望する人

実施日時など：歳末の閉庁期のうちの1日

実施頻度（回数）：準備を含めて2日程度

実施場所：神戸市中央区東遊園地（予定）

### ④ミーティングと学習会

目的：メンバーの共通理解形成

内容：更生センター見学、勉強会、学習会

対象者：夜回りメンバーおよび一般

実施日時など：ミーティングは第3土曜日18時～。他は未定

実施頻度（回数）：ミーティングは1～2カ月に1回、他は未定

実施場所：未定。コロナ感染予防の為にZoomなどのオンラインツールを活用する。

### ⑤アドボカシーと行政への働きかけ

目的：格差・貧困の問題を広く伝え、必要に応じて行政の対応を要請する。

内容：年次報告書発行、ブログなどウェブ情報発信、生徒・学生や一般を対象にした語り合う会の開催、  
排除アート写真収集と公開、情報カード作成、「わたしから神戸市への提案」活用、情報公開請求など。

対象者：一般、市や県の担当部署など

実施頻度（回数）：報告書は年1回。他は未定

備考：必要に応じて他団体や学校などの他機関と協働する。

### ⑥環境の変化に対応した体制づくり

目的：野宿者の数は減少しているが、格差と貧困の問題は深刻化している。当グループの果たす社会的役割  
はむしろ増大しているため、今後も中長期に渡って継続できる活動体制を整える。

内容：タイムズカーシェアの契約と運用、新たなボランティアの募集と研修。必要な場合は他団体と協働。  
現在の活動内容および将来のヴィジョンを踏まえたグループ名称の変更など。

対象者：夜回りの対象者、地域の困窮者、一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）／期間など：未定

実施場所：未定

## ■わいわい科学クラブ

### 【活動方針・活動目標】

- ・身近な題材で科学的実験や物づくりを体験する「わいわい科学クラブ出前教室」の活動を行なう。
- ・「わいわいデイルーム」や「はッピーすくーる」に出向き、高齢者や外国にルーツを持つ子どもたちに  
実験や物づくりの楽しさを知らせる。
- ・神戸YWCAホームページのわいわい科学クラブのページの一新をはかる。

### 【活動計画】

- ・出前の依頼があってから、実験テーマなどを出前先の担当者と話し合い、決定する。
- ・幾人かのサポーターに参加を依頼したり、準備の作業を行なったりすることもある。

## ■アフタヌーン・ティー

2021年度については未定

## ■現代史勉強会いもづる

休会中

## Ⅱ 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

### ■神戸YWCAまごの手

#### 【事業方針・事業目標】

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援（ケアマネジメント）や訪問介護（身体介護、生活援助）等のサービスを行なう。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行なう。居宅介護支援事業や訪問介護事業とも連携をはかりつつ住宅確保要配慮者に対する居住支援事業を行なう。今年度は、「総合サポートセンター」という新たな組織のもと、会員が主体的に立ちあげた助け合い活動グループ「生活支援わいわい」がスタートする。お互いの支え合い、ふれあいで気持ちよく、心豊かに暮らせる地域づくりを目指して活動する。

- ・「総合サポートセンター」内での有機的な連携を図る。
- ・地域包括ケアの実現を目指して、地域の中において、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ・利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ・よりよいサービス提供に繋がるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。

#### 【事業計画】

##### ①居宅介護事業

目的：介護保険に関する相談、申請の代行、ケアプランの作成など、介護保険サービス利用の支援を行なう。

- 内容：
- ・介護保険法に規定する居宅介護支援
  - ・介護保険法に規定する介護予防支援（委託）

##### ②訪問介護事業

目的：支援を要する方々に対して、居宅等を訪問して、身体介護、育児支援、生活援助、家事援助などのサービス提供を行なう。

- 内容：
- ・介護保険法に規定する訪問介護
  - ・介護保険法に規定する介護予防訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
  - ・介護保険法に規定する生活支援訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
  - ・障害者総合支援法に規定する居宅介護
  - ・障害者総合支援法に規定する同行援護
  - ・障害者総合支援法に規定する移動支援（神戸市地域生活支援事業）
  - ・産前・産後ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
  - ・養育支援ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
  - ・ほっとヘルパーサービス（神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業）
  - ・まごの手はあと（自費サービス）

##### ③居住支援事業

目的：誰もが地域の中で自分らしい暮らしを安心して続けることができるよう、地域包括ケアを推進する中で、人々の暮らしの基盤となる住まいについて、支援を要する方に対して、その確保から安心して住み続けるための支援、退去時までの支援を行なう。

- 内容：
- ・家賃債務の保証
  - ・円滑な入居の促進に関する援助（相談窓口の設置、専門相談の実施、不動産店への同行、契約等の支援）
  - ・生活の安定及び向上に関する援助（生活相談窓口の設置、見守り・生活支援サービス、交流拠点の活用）
  - ・居住支援協議会との連携
  - ・その他の居住支援に資する取り組み（地域の居住支援ネットワーク形成、居住支援事業の中長期的な持続性に配慮した取り組み）

##### ④生活支援わいわい

目的：神戸YWCAの理念に基づき、お互いの支え合いで気持ちの良い、心豊かな暮らしが送れる地域づくりを目指し、会員が主体となって生活支援サービス活動を行なう。

- ・初年度2021年度は、会員、分室利用者（元利用者も含む）、居住支援相談者等を対象に、活動する。
- ・利用者のニーズに応えられるサービス提供を目指す。
- ・サービス提供者の研修・交流を充実させる。

内容：a) 生活支援サービス

- ・利用者の生活上のニーズに応えるサービスを提供する。

- ・対象者は生活支援わいわいメンバー
- b) 生活支援わいわい運営委員会
  - ・グループ運営を順調に進めるために、活動の現状把握と発展・問題解決のための協議する。
  - ・年 10 回程度開催予定
- c) サービス提供者実務ミーティング
  - ・サービス活動を順調に進めるために、サービス提供者間の交流と研修を図る。
  - ・年 6 回程度開催予定。外部講師による研修会を 1 回は開催する。

#### ⑤研修

- 目的：・地域福祉の向上を目指して、福祉人材養成および啓発を行なう。  
 ・介護、福祉の専門職のスキルアップ研修を企画実施する。
- 内容：・神戸YWCA学院「地域福祉コース」を、2021 年度以降はまごの手で実施する。  
 ・具体的には、居住支援セミナー、介護福祉人材スキルアップおよび養成等の実施。

## ■神戸YWCA保育園

### 【事業方針・事業目標】

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

### 【事業計画】

保育理念：キリスト教精神のもとにひとり一人の身体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す。

保育方針：少人数で家庭的な環境で個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を身に着ける。

温かいふれあいや遊びを通して、豊かな情操を養う。

人との関わりや絆（愛・信頼）の基礎を培う。

開所日時：月曜日～土曜日 標準時間 7 時 30 分～18 時 30 分 短時間 8 時 30 分～16 時 30 分 延長保育有

利用者：生後 6 カ月～3 歳未満児

定員：12 人（ただし変動する場合有）

- 保育内容：・年齢、月齢にとらわれず、個々の子どもの成長に合わせた保育を行なう。  
 ・散歩や近所の公園で、楽しみながらできる遊びでしなやかな体をつくる。  
 ・強い刺激ではなく優しい語りや歌、繰り返し読む絵本を大切にする。  
 ・季節感、自然を取り入れた遊びで心を動かす体験を重ねる。  
 ・子どもと共に祈る（毎日の祈りと讃美歌）。  
 ・季節やキリスト教の行事を大切にする。

職員体制：園長、保育士（常勤 2、パート 5）、管理栄養士、調理員

その他：・避難訓練（1 回 / 月）、救急訓練の実施（1 回 / 2 カ月）

- ・近隣の小規模保育園や連携園との交流
- ・近隣の方々、地域とのつながり（花の日、地域行事参加）
- ・保育の質向上のため、自己評価制度を取り入れ、振り返りを行なう。
- ・園内研修の実施

#### ①おかあさんもたのしんで！

内容：子育てをしながら働く女性が子どもと一緒にリラックスして参加できるプログラム。親子でヨガ、親子でフラワーアレンジ、親子で歌おう、絵本よみきかせ、アロママッサージ、おしゃべり会など

対象者：近隣の働く女性と子どもたち、卒園児親子、在園児親子

実施日時：1 回 / 月 17 時 30 分～18 時 30 分

実施場所：神戸YWCA本館

#### ②小規模保育園ってどんなところ？

内容：土曜日に親子で保育園生活の体験をする。

対象者：近隣の 0～2 歳児と家族

実施日時：1 回 / 月 土曜日 9 時 30 分～12 時

実施場所：神戸YWCA保育園

#### ③おじいちゃん、おばあちゃん、あそぼ！

内容：高齢者とのふれあいと食事会

対象者：近隣の高齢者、神戸YWCA会員

実施日時：1 回 / 月 土曜日 9 時 30 分～12 時 30 分

実施場所：二宮公園、神戸YWCA保育園



## 神戸YWCAつどい場

### ■カフェもぐもぐ

#### 【活動方針・活動目標】

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行なう。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行なう。
- ・仲間を増やす。

#### 【活動計画】

##### ①カフェもぐもぐ定例会

目的：・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。

- ・若年性認知症の人が集い、生きがいを持って働く事ができる場をつくる。

内容：・(午前) カフェでの食事づくりと昼食

- ・(午後) 交流の時、その他

- ・外出プログラム (年数回)

- ・交流と学びのためゲストを招待 (年数回)・

対象者：若年性認知症の人とその仲間

実施日時：第1土曜日 10時30分～15時

実施期間／頻度 (回数)：12回／年

費用：参加費、食費

実施場所：神戸YWCA分室 その他

備考：終了後にスタッフミーティング実施、その他必要に応じて随時

##### ②カフェもぐもぐ交流会

目的：若年性認知症についての啓発活動

内容：未定

対象者：若年性認知症当事者、家族、他団体、興味のある人

実施日時：未定

実施期間：1回以上／年

実施場所：神戸YWCA本館、その他

##### ③認知症サポーター養成研修 (神戸市認定)

目的：認知症を学び地域で支えるためのサポーター養成

内容：神戸市認知症サポーター養成研修

講師：キャラバンメイト (神戸市認定)

対象者：興味のある人、ボランティア希望者

実施場所：未定

実施日時：未定

実施期間：1回 (90分) /年 (6月頃)

備考：無料、講座修了者にはオレンジリングが手渡される。

##### ④その他：カフェもぐもぐだより発行 (年1回)

情報収集とネットワークづくり (他団体交流・行政・研修会参加)

### ■ちやいやあらんど

#### 【活動方針・活動目標】

- ・子どもとお母さんの居場所やつながりを作るきっかけの場をつくる。

- ・子どもを含めての集まりは感染を予防した安全な環境を整えることが依然難しいので、何らかのつながりを目指す。

- ・新組織のユース・エンパワメント委員会の「子ども委員会」のイントロダクションとして、保護者の方に活動内容を理解していただく場としても活用したい。

#### 【活動計画】

##### ①通常「おしゃべりママの会」

目的：リラックスしたり自分らしくできる居場所を作る。

内容：おしゃべりメインにお茶やお菓子・プログラムなどを楽しむ。

対象者：育児をしている母親

実施頻度 (回数)：1～2回／月

実施場所：神戸YWCA分室  
備考：参加費 300 円／親子 1 組（別途プログラム費）

#### ②ぬいぬいの会

目的：・自分のペースで裁縫をしながら作品を作る時間を楽しむ。  
・育児中の保護者と子どもを中心に、地域の多世代も集える場にする。

内容：ボランティアサークルほたるさんの商品の布おもちゃを作る。

対象者：育児中の保護者と子どもたちを中心に。

実施頻度（回数）：1～2 回／月（夏休み期間は休み）

実施場所：神戸YWCA分室

備考：参加費 500 円／回 別途材料費

#### ③スクラップブックの会

目的：スクラップブックの作品作りで自分時間を楽しむ。

内容：スクラップブックを作ったりできた作品をお互いに楽しむ。

対象者：特になし

実施頻度（回数）：不定期。2 か月に 1 回程度

実施場所：神戸YWCA分室

備考：参加費 300 円／回 別途材料費（500 円か 1000 円）

### ■弓の木歌の集い

#### 【活動方針・活動目標】

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。しかし市住側も神戸YWCA 側も共に高齢化しているため、2021 年度計画は未定。

### ■わいわい食事会

#### 【活動方針・活動目標】

・住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で、食事会を開く。

#### 【活動計画】

##### ①わいわい食事会

目的：住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で、食事会を開く。

対象者：旧わいわいランチやわいわい亭のボランティアと利用者を中心に、地域住民。

実施日時：第 3、第 4 金曜日、10 時 30 分～12 時

実施頻度（回数）：20 回／年

実施場所：神戸YWCA分室

備考：コロナ禍なので、2021 年度も茶話会として始める。会費は 300 円。コロナ禍を脱すれば、食事会に切り替える。

### ■わいわいダイルーム

#### 【活動方針・活動目標】

- ・新型コロナウイルス感染予防に努めて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉等の専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

#### 【活動計画】

##### ①わいわいダイルーム

目的：神戸市総合事業 地域拠点型一般介護予防事業（神戸市委託）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりプログラムの提供を行い、手づくりの昼食を提供することにより、介護予防に資する活動を実施する。

内容：・看護師、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、歯科医等の専門職による介護予防講座（月 1 回）

・音楽療法士、健康運動指導士等による介護予防プログラム（月 1 回）

・介護支援専門員、介護福祉士等による情報提供（随時）

・健康体操、ゲーム、談話などのプログラム（毎回）

- ・ボランティア講師によるクラフト製作、書道、理科実験工作などのプログラム
- ・手づくり昼食の提供

対象者：神戸市在住の65歳以上の高齢者  
 実施日時など：毎週火曜日10時～15時  
 実施頻度（回数）／期間など：1回／週  
 実施場所：神戸YWCA分室

### Ⅲ 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

#### ■日本語コース

##### 【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行なう。

##### 【事業計画】

##### ①レギュラーコース

目的：短期集中型で日本語を総合的に学びたい学習者を対象にした1日3時間、週5日または週3日のクラス。  
 日本で生活している、または生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語の  
 レッスンを行なう。日本語の構造、聞く、話す、書く、読む、を総合的に学習することで、実用的で  
 正しい日本語を身に付けることを目指す。

内容：文法、会話、発音、文字などの総合学習

対象者：初級～上級

実施日時：2021年4月～2022年3月

実施期間：3学期制

5回／週（初級コース）・3日／週（中・上級コース）、各日3時間

実施場所：神戸YWCA本館

##### ②プライベートレッスン

目的：学習者のレベルと要望に沿った授業を提供する。

内容：学習内容は学習者の希望に沿う。

対象者：個別レッスン希望者、ビジネス日本語の勉強の希望者など

実施日時：2021年4月～2022年3月

実施期間：10回／1クール、各回成人90分、子ども45分×2

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA本館

備考：セミプライベートレッスン（2人～4人）、オンライン・派遣あり。それぞれ60分料金設定あり。

##### ③兵庫県立神戸高等技術専門学院委託訓練事業「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」（予定）

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営め  
 るよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、  
 職業人講話など（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2021年9月下旬～12月下旬（予定）

実施期間：3カ月（予定）5日／週、各日9時30分～16時10分（50分×6コマ）（予定）

実施頻度（回数）：1回／年（予定）

実施場所：神戸YWCA本館

備考：受講者申込先などはハローワーク

##### ④はっぴー・すくーる 神戸Y

目的：a) ママの日本語クラス

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）の母親および妊娠中の方を対象に、出産や育児、  
 日本社会における子育てに関する基礎的な日本語学習の機会を提供する。同時に、日本語が不自由な  
 ため地域で孤立しがちな母親たちが互いの悩みや意見を交換し、支え合うセーフ・スペースおよび



ネットワーク・スペースの確立を目指す。

b) はっぴー・さぼーと

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒を対象に、学校の勉強に必要な科目学習の提供と、居場所づくりを行なう。

c) はっぴー・すくーる

外国人児童生徒の進路や進学をサポートを行なう。

内容：a) ママの日本語クラス：出産、育児に関する基礎日本語学習の提供

b) はっぴー・さぼーと：学校教科学習のサポート、居場所づくり

c) はっぴー・すくーる：進路、進学相談。「先輩に聞こう」プログラム

実施頻度（回数）：a) ママの日本語 1～2回／月（年間14回予定）

b) はっぴー・さぼーと 原則1回／月（年間13回予定）

c) はっぴー・すくーる 3回／年（予定）

実施場所：「ママの日本語」は神戸YWCA本館、賀川記念館（予定）

#### ⑤勉強に役立つ日本語クラス

目的：日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒（日本国籍も含む）の生活日本語と教科日本語を指導する。

内容：日本語指導、教科日本語指導。原則としてオンラインで実施する。

対象者：日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒（日本国籍も含む）

実施日時：2021年8月2日～13日（予定）

実施期間：2週間、5日／週、各日9時30分～16時00分（予定）

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：オンライン、神戸YWCA本館

#### ⑥日本語能力試験対策講座

目的：日本語能力試験の対策

内容：日本語能力試験に対応した、効果的な学習方法を指導する。

対象者：N3～N1

実施日時：2021年5月～6月、10月～11月

実施期間：全8回程度、90分／回

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA本館

#### ⑦キリスト教関連日本語コース

目的：キリスト教に関連した日本語学習の場の提供

内容：一般日本語だけでなく、礼拝説教、聖書などの独特の表現や語句の指導など

対象者：中級（3人以上のグループから申し込み可）

実施日時・期間など：随時

実施場所：神戸YWCA本館、オンライン、派遣先

## ■日本語教師養成コース

### 【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師や日本語ボランティアを養成する。

### 【事業計画】

#### ①夏期日本語集中講座（日本語教育実習）

目的：日本語教育を学ぶ大学生に教育実習の場を提供する。

内容：教育実習を実施する場と学習者の確保

実施日時：8月2日～6日（金）（予定）＊7月31日（土）準備

実施期間：5日間

実施頻度（回数）：1回

実施場所：神戸YWCA本館

備考：プレイスメントテストは7月3日に実施予定

#### ②日本語ボランティア養成講座

目的：日本語ボランティアの発掘と育成

内容：日本語教育の入門講座

対象者：日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え

方が分からない方など。

実施日時：土曜日 10 時～12 時 30 分 全 5 回

実施期間：① 5 月 29 日～6 月 26 日（予定）② 10 月 2 日～10 月 30 日（予定）

実施頻度（回数）：2 回

実施場所：神戸YWCA本館

### ③日本語教師スキルアップ講座

目的：教師経験がおおむね 3 年以下の日本語教師のスキルアップ

内容：日本語教育について基本的な知識は持っているが、実際の教え方がわからない人などが、授業準備や教案の書き方のポイント、クラス運営方法などについて再学習する場を提供する。別途、プライベートレッスン（相談）も受講可とする。

対象者：日本語教育に携わっている新人日本語教師など

実施日時：2022 年 3 月の土曜日（予定）

実施期間：2022 年 3 月（予定）

実施頻度（回数）：1 回

実施場所：神戸YWCA本館

### ④日本語教師スキルアップ特別講座（オンライン）

目的：教師経験がおおむね 3 年以下の日本語教師のスキルアップ

内容：日本語教師歴が浅い人を対象に、「漢字指導」等指導項目別の、準備授業や教案の書き方のポイント、クラス運営の流れ等を再学習する場を提供する。

対象者：日本語教育に携わっている新人日本語教師等

実施日時：5 月、1 月（予定）、3 時間 / 回

実施頻度（回数）：2 回 / 年

実施場所：神戸YWCA本館

### ⑤「やさしい日本語」講師派遣

目的：日本人と外国人の共生ツール「やさしい日本語」の普及

内容：「やさしい日本語」の出前ワークショップ

対象者：国際交流協会、市役所窓口、日本語ボランティア教室、外国にルーツをもつ子どもの通う学校や保育園・幼稚園、自治会など

実施日時・期間など：随時

実施場所：派遣先

### ⑥アドバイザー派遣

目的：日本語ボランティアのスキルアップと育成

内容：他団体において活動する日本語ボランティアへのアドバイスや指導を行なう。

対象者：国際交流協会、日本語ボランティア教室など

実施日時・頻度など：随時

実施場所：派遣先

## ■外国語コース

### 【事業方針・事業目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める

### 【事業計画】

#### ①レギュラーコース

目的：国際理解のための外国語をネイティブ講師から学び、コミュニケーションスキルを伸ばせる少人数のクラスを提供する。

内容：英語（初級～中上級 3 クラス）・韓国語（入門・中上級各 1 クラス）を実施

対象者：一般

実施日時：火、水、木、土曜日 11 時 15 分～12 時 45 分、13 時 30 分～15 時、18 時 30 分～19 時 45 分（計 5 クラス）

実施期間：年 3 学期制

実施頻度（回数）：各学期 12 回（週 1 回）

実施場所：神戸YWCA本館

## ②プライベートコース

目的：個人または少人数グループのニーズに応じた形でフレキシブルな外国語のレッスンを提供する。

内容：英語（要望があれば他の外国語も）のプライベートレッスンを実施

対象者：一般

実施日時：学習者のニーズにあわせて日時・講師を決定

実施期間：随時

実施頻度（回数）：原則週1回（90分レッスン）、10回1クール

実施場所：神戸YWCA本館

## ③カスタムコース

目的：学習者の目的に特化した内容でカスタマイズした外国語クラスを提供する。

内容：・All Together（海外帰国生など英語学習経験のある子どものための英語クラス。年少児～中学生対象、個々の希望に沿った形で英語を保持）

・シニア英会話

・英語保持クラス（JOES 英語保持教室神戸教室）の元受講生（小学2年生～中学3年生）を対象とした英語保持クラス

対象者：All Together：5歳～中学生、シニア英会話：一般、英語保持クラス：小学2年生～中学3年生）

\*原則として3人以上で開講

実施日時：All Together・英語保持クラス：土曜日（11時15分～12時45分、13時45分～15時15分、15時30分～17時の3クラス）、シニア英会話：火曜日（10時30分～12時）

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：All Together・英語保持クラス：春学期13回、秋学期13回、冬学期10回

シニア英会話：各学期12回

実施場所：神戸YWCA本館

## ④オフキャンパス

目的：他の団体・グループから外国語レッスンの業務を請け負う

内容：・コープカルチャー宝塚（英語2クラス）

・兵庫県Dクラス（英会話1クラス）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校

①外国語I 英会話（1年生2クラス）②外国語II 英語（2年生2クラス）

・関西労災看護専門学校（英語1年生2クラス）

対象者：一般、兵庫県職員、専門学校生

実施日時：コープカルチャー宝塚 木曜日、兵庫県Dクラス 木曜日、関西労災看護専門学校 月曜日、公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 火・金曜日

実施期間：・コープカルチャー宝塚・兵庫県Dクラス：年間を通じて開講

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校①2021年4月～2022年2月②2021年4月～10月

・関西労災看護専門学校 2021年10月～2022年1月（後期）

実施頻度（回数）：・コープカルチャー宝塚・兵庫県Dクラス：30回程度/年

・関西労災看護専門学校 27回

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 ①56回 ②30回

実施場所：コープカルチャー宝塚、兵庫県職員会館、公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校、独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校

## ⑤特別講座

目的：外国語をコミュニケーションツールのひとつと捉え、言葉の背景にあるカルチャーへの理解を深めることで多文化共生の地域づくりに活かす。

内容：・「英語で聴く！」シリーズ（様々なテーマの講座を英語だけで聴く）

・「外国語に触れる」シリーズ（地域で暮らす外国人の多様な母語について知ることのできるミニ講座）

対象者：一般

実施日時：不定期

実施期間：随時

実施頻度（回数）：各3回程度/年

実施場所：神戸YWCA本館、オンライン

## ■文化教養コース

### 【事業方針・事業目標】

芸術・カルチャーに触れ、人生の糧になる喜びを見いだすような講座を企画する。

### 【事業計画】

#### ①ピアノレッスン

目的：ピアノを通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後から夜

実施頻度：1～4回／月

実施場所：神戸YWCA会館

#### ②発声・歌唱レッスン

目的：ボイストレーニング・歌を通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施場所：神戸YWCA本館

## ■多文化共生ボランティア部

内容未定

## V 活動共通事業

### ■運営委員会

#### 【活動方針・活動目標】

- ・何よりもまず会員がのびのびと楽しく活動できるように支援する。その結果として、会員活動が社会変革を目指す市民運動としての役割を担っていくことを目指す。
- ・会員新組織をスムーズに運用し、会員と共に活動をつくっていく。

#### 【活動計画】

##### ①定例運営委員会

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：・会員活動関連の協議

- ・世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA、他団体からの要請および連帯など
- ・定期的な運営委員研修の実施

対象者：運営委員

実施頻度：12回／年

実施場所：新型コロナウイルス禍にあり、できる限りオンラインでの実施の検討

##### ②第102回定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営にかかわること、ならびに会員どうしの交流

内容：・2021年度活動報告と2022年度活動計画の承認。

- ・会員新組織の評価と改善

対象者：会員（会友、その他希望者も参加可能。ただし議決権はない）

実施日時：2022年3月12日

実施頻度：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

##### ③会員新組織の運営と評価

目的：会員新組織のスムーズな運用と評価、改善

内容：・各プロジェクトの実施

- ・プロジェクト報告会の実施（11月ごろ）

対象者：会員、一般

実施日時：年間

#### ④ 4市YWCAとの連携

目的:4市YWCA（大阪、京都、名古屋、神戸）との情報交換や協働をはかり、会員活動をパワーアップする。

内容：日本YWCA「地域YWCAを主体とした活動（LA）」後の情報共有や連携

対象者：会員

実施日時：随時

#### ⑤世界YWCAデイ

目的：世界YWCAデイ（毎年4月24日）を通して、世界中のYWCAの働きを覚え、互いの活動を知り、応援する。

対象者：会員、会友、および一般

実施日時：4月

実施場所：オンライン開催

#### ⑥つながるプロジェクト

目的：会員のエンパワメントおよび情報交換

内容：会員活動の情報を共有する「つながるメール」の配信。スピーディに配信するためにも配信頻度、配信内容などを検討する。

対象者：「つながるメール」は会員対象

実施頻度：随時／年

#### ⑦ボランティア募集

目的：神戸YWCAの新しい仲間を募る。

内容：・世界にネットワークを持つ国際NGOである神戸YWCAの紹介。

・神戸YWCAの活動紹介、参加を希望する活動の紹介。

・神戸YWCAの会員制度の紹介。

対象者：初めて神戸YWCAで活動する人、活動したい人

実施頻度：随時

### ■キリスト教基盤委員会（旧・キリスト教基盤部）

#### 【活動方針・活動目標】

神戸YWCAにおけるキリスト教基盤を理解するための活動を推進する。

#### 【活動計画】

##### ①講座の開催ならびに広報の充実

目的：YWCAにおけるキリスト教基盤について学ぶ。

対象：会員およびYWCAで活動する人々

内容：・キリスト教講座／キリスト教基盤を知るための講座（3回）

・4市YWCAが合同で取り組んだ「神戸YWCAの大切にしている言葉」の活用（簡単なリーフレット等の作成）

・標語聖句を浸透するための広報（色紙掲示など）

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA本館

##### ②神戸YMCA／YWCA合同祈祷週

目的：世界中のYMCA／YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この1週間、YMCA／YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：合同祈祷週礼拝。期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）

対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員および一般

実施日時：2021年11月14日（日）～20日（土）＊礼拝は2021年11月16日（火）（予定）

実施場所：神戸YWCA、神戸YMCA、その他

##### ③神戸YWCAクリスマス

目的：会員がクリスマスの意味を学ぶ。イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

内容：未定

対象者：神戸YWCA会員および一般

実施日時：未定

実施場所：未定

##### ④関係団体との連携

a) 世界祈祷日

目的：世界祈祷日国際委員会が中心となり、世界中で教会の女性たちによって実施される。テーマにそって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。世界祈祷日の献金は、式文作成国の女性たちの活動、また、国内外の女性たちのための活動に捧げられる。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバーおよび一般

実施日時：2022年3月4日（金）予定

実施場所：未定

備考：1887年アメリカの女性たちが移住者や抑圧されている人々を忘れないために、世界祈祷日を始めた。その後二度の世界大戦を経験し、和解と平和を求める祈りへと教派を超えて広がった。

b) イースター関連プログラム

目的：会員と共にイースターの意味と喜びを知る。

内容：未定

実施日時：2022年4月

## VI 広報・ファンドレイジング

### ■機関紙編集委員会

#### 【活動方針・活動目標】

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

#### 【活動計画】

##### ①神戸YWCA機関紙発行

目的：会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

内容：1面：神戸YWCAの方針に沿ったオピニオン記事掲載（年に3回程度外部執筆者に依頼）

2～3面：各プロジェクト・グループの活動やイベントの予告、報告記事、連載記事（「たてごと」「はっぴーあるばむ」など）

4面：事業関係、神戸YWCAイベント予告、お誘い、事務報告

対象者：会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体

実施日時：6回／年、隔月初め発送（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

実施場所：神戸YWCA本館

備考：各号発行毎に1回の部会と約4回も編集・発送作業を行なう。

- ・部会（紙面内容検討、原稿依頼状送付）
- ・編集・発送作業（原稿催促、生原稿チェック、原稿打ち込み、レイアウト作業、レイアウトチェック、最終校正、印刷発注、発送（執筆者への礼状同封））
- ・発送時に日本YWCA機関紙と神戸YWCAの各部・グループ主催のイベント、講演会のチラシを同封。

### ■ファンドレイジング実行委員会

#### 【活動方針・活動目標】

・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。

・マネージメントの視野をもったファンド・広報を考える。

#### 【活動計画】

##### ①定例ミーティング

目的：マネージメントの視野を持ち、持続可能なファンドレイジングを目指す。

内容：バザーおよびそれ以外にファンドとなりうる活動の検討

対象者：委員会メンバー

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：神戸YWCA本館（オンライン形式を含む）

##### ②チャリティー物品の販売

目的：神戸YWCAの活動資金を得る。

内容：・チャリティー・ドリップコーヒーの販売



- ・はるいさんの天然はちみつの販売
- ・コストコの商品、ケニア紅茶、アドベントカード等の販売

対象者：一般

実施頻度（回数）：通年

実施場所：神戸YWCA本館および通信販売

### ③「容子の台所～発酵食で免疫力をアップしよ～！」

目的：発酵食について理解を深める講座を開きファンドレイジングにつなげる

内容：発酵食について知識を得、生活にとり入れるオンライン講座の開講

対象者：会員、一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：未定

実施場所：オンライン（Zoom）

備考：2020年度から継続して企画。有料。

### ④ちくちく子ども手づくりの会

目的：手づくり品をファンドの広報に役立てる

内容：自由な発想のものづくり

対象者：会員、一般（子どもメイン）

実施頻度（回数）：不定期

実施場所：神戸YWCA本館、分室

### ⑤オリーブプラン

目的：食材としてのオリーブについて知り、ファンドレイジングにつなげる

内容：オリーブの採集から利用までをイベントとして計画・実行する

対象者：会員、一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：未定

実施場所：未定

### ⑥箏・フルートコンサート

目的：広報・ファンドレイジングのため。

内容：箏とフルートのコンサート

対象者：会員、一般

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回

実施場所：未定

備考：2020年度から継続して企画。有料。

## Ⅶ 理事会

### 【方針・目標】

神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にし、安定的な財政構造改革を実施する。

### 【活動計画】

- ・各事業の課題を見極め、安定した財政構造につながる改革を行なう。
- ・神戸YWCAが現在持っている資源を再評価し、最大活用を検討する。特に総合サポートセンター、多文化共生センター、平和と人権センターの有機的な連携を図り、効果的な事業実施と組織の効率化を図る。
- ・各事業の改革に取り組む中で、中長期的な神戸YWCAのビジョンを明確にする。

公益財団法人 **神戸YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: [office@kobe.ywca.or.jp](mailto:office@kobe.ywca.or.jp)

[www.kobe.ywca.or.jp](http://www.kobe.ywca.or.jp)

**YWCA**

(ワイ・ダブリュー・シー・エー  
Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。